

待 春

山本正夫作曲

mf $\text{♩} = 112$

1. ミヤマノユキハキエネドモ
 2. いげのこほりはとけねども

ノキバノウメハホホエミヌ
 きしべのあしはつのみぬ

ナレチバマテルハソレノミカ
 いましなまてるはひとのみか

mf

トクトクイソーゲハルヨハルヨ
 とくとくいそーげはるよはるよ

待 春

犬童球溪作歌

- 一、深山の雪は消えねども、
軒ばの梅はほほるみぬ、
汝れを待てるは我のみか、
とく／＼急げ春よ／＼。
- 二、池の氷は解けねども、
岸邊の芦は角ぐみぬ、
汝しを待つは人のみか、
とく／＼急げ春よ春よ。

河 水 清

山本正夫作曲

ANDANTINO

1. イハマノシヅクアツマリテタマト
 2. なにまのをがわあつめきてかがみと

ナガルルサトガワノソコノマサゴモ
 よどむやまがわのそこのこあゆも

カヅフベクスメルモキヨシミズノオモ
 かぞふべくすめるもきよしみづのおも

河 水 清

(御題に因みて)

犬童球溪作歌

- 一、岩間の雪集りて、
玉と流るる里川の、
底の真砂も数ふべく、
澄めるも清し水の面。
- 二、谷間の小川集め来て、
鏡と静む山川の、
底の小鮎も数ふべく、
澄めるも清し水の面。